

# Forest 通信 H28 1

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター NO. 323



新年あけましておめでとうございます。

皆さん良い年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

去年は、センターの隣に高尾599ミュージアムがオープンし、連日たくさんの人で賑わっていました。お陰様でセンターの木工作体験室も、材料不足になるのではと心配するほど盛況でした。今年も多くの人に森の恵みとふれあっていただけるよう、ドングリ集めに走り回りますので、よろしくお願いいたします。

平成28年 元旦

高尾森林ふれあい推進センター所長 関下俊則

巻頭 photo

## 高尾山の生きものたち

### 今年は僕たちの申年だ！

高尾山のサルというと「さる園のサル」を思い浮かべる人がほとんどだと思いますが、僕は高尾山中に住むれっきとした野生のニホンザルです。

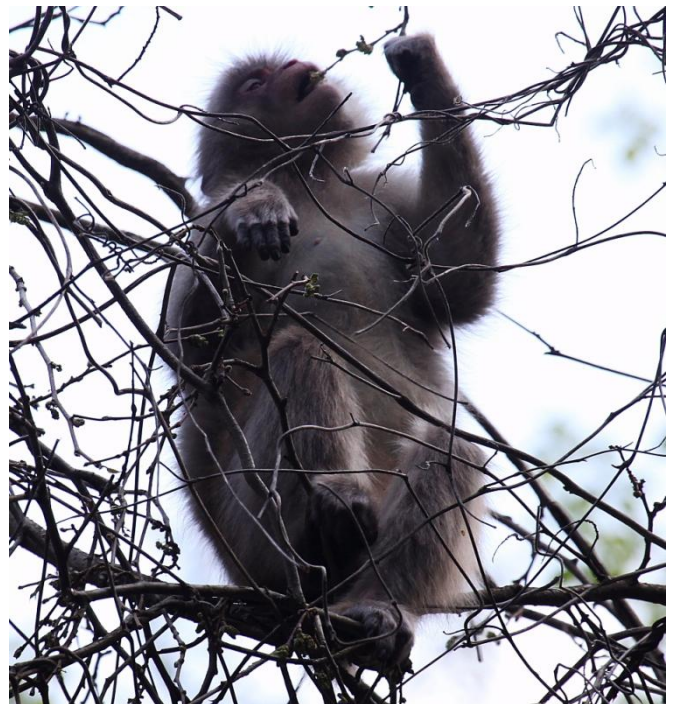
冬の間は食糧が少なくてもひもじい思いをしており、今日は仲間と木下沢でわずかに残った木の実を食べにきましたが、どうも食事中を撮影されたようです。普段なら人間をおそれて木々の合間に隠れますが、空腹には耐えられずモデルになってあげました。

それはともかくとして「新年あけましておめでとうございます」今年もよろしくね！！

### 今月の一句

「餌探しに 今日も山中 駆け巡り」

(フォレストサポートスタッフ 大作 栄一郎)



## 特別企画

# リース作り体験教室

高尾森林ふれあい推進センターでは、11月30日（月）～12月4日（金）の5日間「リース作り体験教室」を開催し、期間中は約40名の方に参加していただきました。



世界こっけいのリースを作る参加者

インタープリターから木の実の説明と作り方のコツを聞き、つるやマツボックリの輪をベースにして、飾りつける木の实や葉っぱを選びました。デザインをあれこれ考えている最中、皆さん本当にワクワクいっぱい楽しそうな表情で、「小学校時代の工作時間を思い出した」「自分だけの素敵なリースができた」と大満足の様子でした。

「またイベントがあれば参加したい」とうれしいコメントをたくさんの方からいただきましたので、今後も皆さんに楽しんでいただけるクラフト体験教室を企画してまいります。（み）



すてきなX'masリースができあがりました



JICA研修生

# 高尾山を視察

11月27日、JICAの「南部アフリカ地域持続可能な森林資源管理保全プロジェクト」の研修生14名が当センターを訪れました。



研修生といっても南部アフリカ開発共同体に加盟する国の局長クラスの方々に、前日まで都内でワークショップを行い、帰国前日に寄られました。センターで高尾山の森林についてレクチャーを受けた後、紅葉に染まる高尾山に登りました。好天にも恵まれ、山頂からは富士山の姿も楽しむことができました。自国では長距離を歩くことはほとんどない皆さんだけに、「こんなに歩いたのは初めてだったが、大変楽しかった」との感想を頂きました。（せ）



# 森林教室



紅葉が始まり、秋めいた日差しの中の11月19日に、東京都渋谷区立加計塚（かけづか）小学校の4年生61名が森林教室を体



験しました。

加計塚小学校は恵比寿駅や恵比寿ガーデンプレイスの近くにあるせいか、都会的な雰囲気を感じさせる学校です。

森林教室は、通常は2班に分けて行う森林学習や丸太切りも児童が少ないため全員で行いました。

森林学習では森林の役割をほとんどの児童が理解していました。「木の生長の説明」や丸太切りは、一人で2枚切り、友達同士で見せ合いっこして全員が目を輝かせていました。



午後からの森林観察では、森林学習で学んだことを森林の中で再度確認しました。

山彦（ヤホー）ポイントでは、声を合わせて大声を出していました。都会から来た児童達は高尾の自然を満喫して無事帰路につきました。（皿）



平成27年12月3日（木）に東京都八王子市立上柚木（かみゆぎ）小学校の森林教室を行いました。

最初に森林学習で地球温暖化や森林の機能についてのビデオを視た後、センター職員による「緑のダム」「二酸化炭素を吸収する」「山崩れを防ぐ」「間伐」「森林は再生できる資源」等の説明を受けました。森林散策では森林学習の内容を復習しながら目にする木の実や色々な香りのする葉に興味を示していました。山彦が返る場所で「1+1=」と叫んでみると、なぜか「2」と答えが返ってきたりすることも楽しく散策をすることができました。



前日の天気予報では雨とのことでしたが、生徒達の心がけが良かったおかげで雨も降らず予定していた行程を無事終えることができました。



（山P）



12月9日～10日の2日間、東京都八王子市立城山小学校4年生108名が炭焼き体験をセンター職員の指導で実施しました。城山小学校には学校敷の隅に伏せ焼きのできる窯を昨年度の卒業生が新たに作成し設置してありました。

1日目は、伏せ焼きの説明後クラス毎に分かれ全員で、炭材となる竹を並べ、子どもたちが集めた落ち葉を敷き詰め、土をかぶせ、焚き口から団扇で熱風を送り込む作業を体験。その後、松ぼっくり等で花炭作りを体験し、花炭を入れた缶を冷ましている間に、森林の働きについて座学を行いました。午後からは、冷ましておいた缶を開封。中から出てきた花炭に子どもたちは「すご〜い!!」などと驚きの声を上げていました。



2日目は窯開きです。指導した職員もドキドキ。かぶせた土を取り除き緊張の一瞬。出てきた炭を見て「わア〜!!」と歓声が上がりました。指導した職員もホッとした表情。子どもたちは壊さないように窯から丁寧に取り出し、敷物の上に並べていきました。取り出された炭は教室で子どもたちに配られることとなっています。

子どもたちからは、「虹色の炭ができていてきれいだった」「入れた時より炭になったときの方が軽くなっていることがわかった」等の感想を聞くことができました。（清）



国民の森林「国有林」では、地方公共団体や教育機関等の要請やニーズを踏まえ、森林・林業に対する理解が深められるよう、森林教室等のフィールド提供、指導者の紹介や情報提供等を行っています。

平成28年度の森林ふれあい推進事業のイベント実施に当たり、関東森林管理局長と協定を締結し、高尾森林ふれあい推進センターのイベントを実施していただく団体等を公募します。募集期間は、平成28年1月下旬以降から平成28年2月中旬頃の予定です。

### 具体的な実施内容

#### 1 協定イベント実施団体の選定

営利を目的としない法人又は団体（以下「団体」という）を公示により募集し、森林ふれあい推進事業の趣旨に沿って創意工夫により、イベントを企画・実施できる団体

#### 2 応募団体資格（以下の条件を全て満たす団体）

- (1) 従来から、森林を利用した活動等を実施し、森林とのふれあいを促進させているプログラムを実施している団体
- (2) 森林・林業等について、適切に説明ができる森林インストラクター等の資格者を有する団体
- (3) 国有林林業事業を熟知し、国と連絡・調整を行うことができる団体
- (4) その他森林管理局長が定める条件に合致した団体

#### 3 実施内容等

- (1) 植林 育林等の体験
- (2) 希少種採集、外来種駆除、野生鳥獣害対策
- (3) 森林教室 林業・製材工場の見学等の学習活動

#### 4 参加費の設定

参加費は、団体において、インストラクター等の直接人件費及び旅費、保険料、通行料、施設入場料、資機材等の提供に要する経費、消費税率等額より算出した実費として、実施団体において決定・徴収していただきます。

#### 5 留意事項

国有林からは、フィールドの提供、森林ふれあい館、日景沢キャンプ場、自然学習橋筋施設（炭焼小屋）、展示室及び木工体験室等の施設を優先的に使用できるほか、必要により資機材の貸出や支的支援等を受けることができます。

林野庁関東森林管理局では、平成26年度から毎年度、高尾森林ふれあい推進センターが実施する森林教室や体験林業等のイベント実施に当たり、イベントをサポートしていただける森林ボランティア「フォレストサポートスタッフ」を委嘱しています。

平成28年度は、①継続して活動いただける再委嘱者の確認と②新規に委嘱を受けて活動いただける新規委嘱者を募集いたします。募集期間は、平成28年1月下旬以降から平成28年2月中旬頃の予定です。委嘱期間は原則として平成28年4月から平成29年3月までの1カ年です。



#### 資格要件（以下のいずれかを満たすこと。）

指導力及び行動力に富み、本制度の趣旨を理解し、自主的に協力する意志がある者で、次のいずれかに該当する者のうちから、高尾森林ふれあい推進センターの活動区域内で活躍いただける者を選考し、委嘱します。

- ① 地方公共団体、森林組合、山岳関係団体、ボランティア団体、自然保護関係団体等の関係機関から推薦を受けた者（団体推薦）
- ② 学校教育法に規定する高等学校、大学（大学院、短期大学を含む。）、高等専門学校及び専修学校の学校長又は教授等から推薦を受けた者（学校推薦）
- ③ 高尾森林ふれあい推進センター所長がフォレストサポートスタッフとして資質を備えていると認められる者（自己推薦）

### 募集予告に関するお問い合わせ先

関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター  
TEL 042-663-6689  
FAX 042-663-7229



### 編集後記

明けましておめでとうございます。

昨年は、エルニーニョ現象の影響が異常気象が続き森林教室も現地でスケジュール変更となった学校がいくつかあった。「結果良ければ全てよし!!」と某氏は至ってマイペース。日頃の行いが悪いからだと周囲からのヤジも完全無視。

何はともあれ、今年も読まれる紙面作りに努力していきますのでよろしくお祈りします。（清）

### Forest 通信 No.323

発行：林野庁関東森林管理局高尾森林ふれあい推進センター

【ご意見、ご要望及びイベント情報のお問合せ先】

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町 2438-1

電話 042-663-6689 FAX 042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>